

質 問 回 答

2024年1月29日

「大洋州地域(広域)エネルギー転換プロジェクト」

(公示日:2024年1月17日/調達管理番号:23a00671)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P.9 (1)プロジェクト運営体制	企画競争説明書においてはツバルを除く4カ国分について対象とありますが、プロポーザルにはツバルでの実施事項等について提案を記載する必要があるのでしょうか。	ツバル分については不要です。ツバルとの R/D 締結後、契約変更対象として扱い、その際に活動内容を協議させていただきます。
2	P.12 (6)本邦研修および地域研修(フィジー拠点にて)の実施	「地域研修:1回/1年を目途にフィジー拠点(研修センター)にて地域研修の実施を想定。」「前回協力の対象国であるマーシャル、キリバスやトンガ、クック諸島等が想定される」について、地域研修は対象国と対象国以外の2回に分けて開催するのでしょうか。つまり2回/1年となりますでしょうか(合計10回)。	本協力の対象国向けに地域研修を実施する際に、対象国以外(前回協力の対象で、本協力でもフォローアップの対象になっている国)の国も含むことを想定しておりますので、回数は1回/1年となります。
3	企画競争説明書 P.12 (9)機材調達	フィジーラウトカト研修センターへの研修機材として、「国内離島にて導入実績のあるマイクログリッドシステムを想定」とあるが、マイクログリッドシステムを用いて実施する研修内容の想定および研修対象者の技術水準についてご教示頂きますでしょうか。	以下2パターンを想定しています。 ① フィジー電力会社(EFL)の職員向け研修、およびその対象国の再エネ導入促進・O&M担当者向けに、地域小規模再エネを利用したグリッドマネジメントの方法を、実機を用いてハンズオン研修で利用するもの。 ② 地域研修の講師(フィジーDOE、EFL)が、①記載の内容を周辺島嶼国へ講師として研修できるレベルを想定したTOTのハンズオン

			研修にて利用。
4	企画競争説明書 P.12 (9)機材調達	上記のマイクログリッドシステムについて、必ずしも実機である必要はないと理解して宜しいでしょうか？例えば機材調達の予算や研修目的、実施内容および効果を考えた場合に、実機では無く、シミュレータによる実施が最も適すると判断された場合は離島の特性を模擬したマイクログリッドシステムのシミュレータを用いることも可能でしょうか？	基本的には実機導入を想定しておりますが、シミュレータにより同様の効果を期待でき、維持管理を持続的に担保できることが確認できれば、その可能性を排除するものではありません。 (No5 も併せてご参照ください)
5	企画競争説明書 P.12 (9)機材調達	上記にマイクログリッドシステムは、順番として事前に行う現地の研修対象者のキャパシティ・アセスメントの結果を踏まえて、必要となる機材構成、必要機能、仕様等を検討後、調達するシステムが確定されると理解して宜しいでしょうか？またもし現時点で想定されている機材構成や必要機能、仕様などがあればご教示いただけますでしょうか。	機材仕様決定の手順については、記載頂いた方法で問題ございません。 現時点で想定している機材としては、PV・蓄電池・グリッドフォーミングインバータ(GFM)・EMS・EV 充電システム等を検討しておりますが、詳細についてはフィジー側との調整を経て決定する必要があります。
6	P.13 (11)他ドナーとの関係	「一部ロードマップのレビュー」とあるが、対象となる国と該当するロードマップをご教示いただきたく。また、P.13～18 第4条に記載されている各国の業務内容を踏まえてフィジー、パラオ(RD が締結されればツバル)と考えて宜しいでしょうか？	ご理解の通りです。

7	P.14 4)主な活動	「1-3 エネルギーtransition推進に係る政策や計画を学ぶための長期研修が実施される。」に記載の長期研修とはどの程度の期間を想定しているのでしょうか。	修士課程を想定しており、1-2年の見込みです。
8	P.21 ⑦ジェンダー平等を推進する活動	「さらに、データ収集の際は、ジェンダー別に収集・分析を行い、定量/定性的効果を可能な限りジェンダー別で把握する。」とありますが、「ジェンダー別」という言葉の意味・定義をご教授いただけますでしょうか。	JICA のジェンダー主流化の手引きでは、「社会的・文化的に構築された性別を指す。生物学的な「性別」だけではなく、「男だから」「女だから」と、ある性別を特定の役割に結び付けたり、ある行動の原因をその人の性別に求めたりするような考え方に基づいて分類された性別をジェンダーと言う。」とありますが、本業務での情報収集においては、生物学的な男女に基づきデータ収集頂くことで問題ございません。 JICA 事業における ジェンダー主流化のための手引き
9	P.23 2.技術協力作成資料 P.13 第4条 業務の内容	「(1)系統運用にかかるトレーニング資料(例: 系統運用マニュアル)等」は「第4条 業務の内容」には記載されていませんが、別途作成する必要があるのでしょうか。そうであれば、どのような内容を想定しているのでしょうか。	文言が統一できておらず失礼致しました。本業務にて実施頂く講義資料等のことを想定しております。(別途作成頂く必要はございません)
10	企画競争説明書 P.24 第7条 機材調達	表に記載の「1 研修センター機器」について、マイクログリッドシステムにグリッドフォーミングインバータに加えてEVが記載されているが、このEVの具体的な活用方法についてご教示頂けないでしょうか。	マイクログリッドシステム研修の一環として、EVを需要側の調整力として活用することを検討しております。

11	企画競争説明書 P.24	第 7 条 機材調達のうち系統解析ツールは、CPAT の導入が計画されているが、現地で使用実績のある系統解析ツールでの研修要望があった場合は、他のプログラムを提案することは可能でしょうか？	導入後の維持管理の効率性や、地域研修での取扱い等を鑑み、基本的には CPAT で統一することを想定しておりますが、業務開始後に現地状況に合わせご相談させていただきます。
12	P.31 2)他の開発協力機関等の活動	2)他の開発協力機関等の活動において WB、ADB などオーストラリア、他との連携について記載があるか、他ドナーで計画されている技術協力内容についてご教示いただくことは可能でしょうか？	詳細については業務開始後にご共有させていただきますが、各ドナーにおいて再エネ導入拡大、蓄電池導入に向けた TA を実施しており、それら活動との連携を想定しております。
13	P.40 <input checked="" type="checkbox"/> 他の専門家との協働	「> 発注者は受注者の求めに応じ、同専門家への役割分担の理解を促進する。」とはどのような状況を想定しているのでしょうか。	JICA は、受注者から要望があれば、本案件の専門家と JICA の国際協力専門員の役割分担について、説明・協議するという意味合いです。
14	P41 2.合同調整委員会(JCC)等の開催支援	「JCC は 1 年に 1 度以上の頻度で開催し・・・」との記載について、ミクロネシアは 4 州ありますが、本案件では主にヤップ州を対象とすることから、毎回、ヤップ州での開催になりますでしょうか。	ご理解の通りです。他州で実施したほうがよい事情等あれば業務開始後ご相談させていただきます。
15	P45 2.業務実施上の条件 (1)業務工程	「2024 年/2025 年/2026 年/2027 年の 9 月に中間報告、2029 年 3 月下旬までに事業完了報告書を作成・提出する。」とのことですが、記載の中間報告は P22 の報告書一覧に記載のある「業務進捗報告書」と同一の報告書でしょうか。	ご理解の通りです。名称に不一致あり失礼いたしました。

16	P48 (4)定額計上について	本邦研修時の報酬として 10,837,000 円が定額計上となっております(2号俸、3号俸者各 1.5 人月計 3.0 人月分)。一方、P45に記載の業務量の目途(約 163 人月)の補足説明では「本邦研修に関する業務人月 3.0 人月含む」との記載がありますが、上限額 645,020,000 円の補足説明では、「定額計上分 354,837,000 円については上限金額には含んでいません」との記載があります。10,837,000 円は上限金額に「含まれている」、或は「含まれていない」どちらでしょうか。	本邦研修時報酬 10,837,000 円は、「3 人月」見合いで計上しており、本件(コンサルタント本体契約)上限額には含めていません。 換言しますと、本件での報酬額は全て「上限額」内扱いであり、該当する想定投入数量は、「160 人月」となります。」
17	P48 (4)定額計上について 「3 機材調達」	機材代金以外に含まれる範囲についてご教示ください(例:国内・国内輸送費、貨物海上輸送料、技師派遣費用等)。	「輸送費含む」との解釈で結構です。 「企画競争説明書」P.46 で案内した通り「コンサルタント契約における経理処理ガイドライン」をご参照いただくと確認できます。 同ガイドライン P.24 以下のとおり、「技師派遣」を要す程の機材は基本的に想定しておりませんが、必要と判断される場合でも、機材費の指示定額内でお考え下さい。

以上